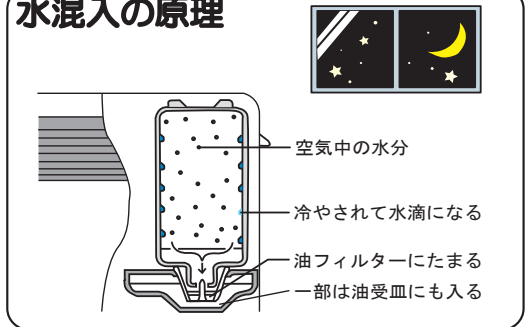


水混入による動作不良について

症状: 灯油は満タンなのに給油サインが点滅する
給油サインが点滅して火力が上がらない
エラーが表示する(E02.03)

灯油に水が混入すると、ファンヒーター本体内で灯油がスムーズに流れなくなるために、上の症状が発生します。水混入の原因は、冬場にガラス窓などに水滴がつくように、空気中の水蒸気がタンクの中で結露したためです。ファンヒーターをお使いになる際に時々点検をお願いいたします。

水混入の原理

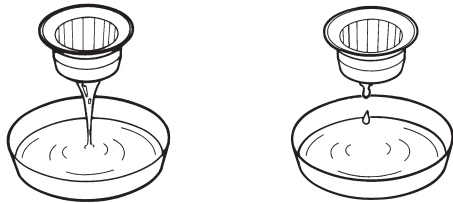


●ご確認いただきたい点

カートリッジタンクを取り出し、油フィルターと油受皿内に水の混入がないかご確認ください。水は灯油より重く、表面張力により底に球状にたまります。受皿内の液体すべてが水という事例もあります。

○油フィルターの確認

油フィルターに水が混入すると灯油が流れ落ちにくくなります。油フィルターを持ち上げた時に、灯油が糸を引くように落ちなければフィルター一部に水が浸透しています。



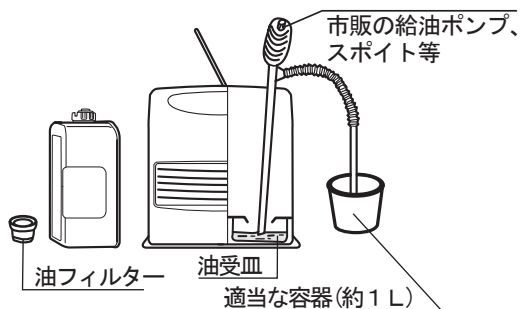
○油受皿の中の確認

油フィルターを外して水が混入していないか確認してください。



●処置方法

1. カートリッジタンクと油受皿内の灯油と水をすべて抜き、新しい灯油に入れかえます。油フィルターは、布などで水分をよく拭き取った後、日陰で完全に乾燥させます。(乾燥が不十分ですと、改善しません)
2. 正常な灯油と入れかえた後、しばらく燃焼させてください。
(初期は着火ミスしたり、火力が不安定になることがあります。)



プラスチック容器を使用した場合は長時間そのまま放置しないで下さい。
抜き取った灯油の処分は灯油の販売店にご相談ください。

点検・修理させていただいたのは

ダイニチ工業株式会社